



ひがしかぐら

こんにちは

議会だより です

NO. 107

ひがしかぐら



主な内容

第3回定例会 ● 令和2年9月16日～9月18日

- 決算審査特別委員会
- 主な議案・臨時会
- 一般質問～6名



に向け 政運営を



横溝 政行 委員長

決算審査特別委員会

質疑応答

質問・答弁は要約されています。詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録がありますのでご利用ください。

くらしの窓口課

Q ごみ分別推進事業で分別不十分で回収されない資源ゴミが多く残っている現状です。衛生推進員を制度化する考えは。

A 早めの回収と住民意識の向上もあり、減ってきています。衛生推進員制度は再度研究調査していきます。



ゴミボックス

会計課・税務課

Q コンビニ収納システムの導入でその効果と国保税のコンビニ収納対応は。

A 会計課としては窓口の来客数は減少しております。

税務課としては4月から始まって8月末の利用実績は3千552件、42,807千円です。

国保税はコンビニ収納に向けて準備中であります。



コンビニエンスストア

健康ふくし課

Q 特別養護老人ホームの維持管理費の工事1千800万円の内訳は。

A 屋根の防水工事に1千364万円と電話設備工事に454万3千円となっております。



アゼリアハイツ

総括質疑

Q 現在、各行政区や公園の花壇が衰退しており管理が持続できない状態、今後の対応策について。

A できる限り地域の皆様にはご協力をお願いしたい。



中央市街地花壇

Q アイデアボックスへの意見、苦情の投書は町長まで報告されているのですか。

A 定期的には職員が回収し、全て町長までの決裁を受けております。



アイデアボックス

活力あるまちづくり 更なる適切な財

こども未来課

Q 保育所第三者委員会の中身について。

A 児童民生委員の2名にお願いしています。花の森保育園と中央保育園の2か所について、何か園に相談出来ない様なことを第三者委員会の2名で対応しています。



中央保育園

まちづくり推進課

Q 広報紙に、結婚、出生、死亡した人を掲載する考えはないですか。

A 個人情報があるので難しいです。



広報紙

Q 地域おこし協力隊は何名いて、どのような活動をしていますか。

A スポーツ、花のまちづくり、地域商社の関係で、3名います。

建設水道課

Q 保育所増設、花の駅今の場所をどう改善するのか。

A 花の駅の部分を複合施設の前、機能を分担。道路、駐車場も見直します。

Q 公営住宅新町団地の壁が何故デコボコになっているのか。やり直すつもりはないのか。

A ガルバリウム鋼板の素材で施工。不良という風には考えられません。



新町団地の壁

産業振興課

Q 農業プロモーターの業務委託料の中身について。

A 地域商社づくりの検討活動とアスパラを通じて東神楽町をPRするのを都内3か所で開催。

Q 地域連携DMO 9,717千円の費用対効果について。

A ウインターフェスティバルとウパシの森の事業費。ウパシの森は1千385名の来場があります。

委員会審査報告

委員長 横溝 政行

当年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率は、前年度からみて数値的には downward になったものの、早期健全化基準を下回っております。

また、財政の弾力性を示す経常収支比率は84.5%で、前年より改善されていますが依然として町村において妥当とされる70%を大幅に超えており、今後も財政健全化に向けた努力を求めます。

人口減少や少子高齢化の問題に対応し、将来にわたって持続可能なまちであり続けるため、今後も引き続き、費用対効果、緊急性、不可避性等の観点から可能な限り無駄を省き、より一層の財源確保に努め、活力あるまちづくりに向けて、更なる適切な財政運営を望みます。



伊藤 一乗 議員 …… 5P

- 1 ごみの不法投棄への対応は
- 2 高齢者への熱中症予防と対応は

渡辺 一志 議員 …… 6P

- 1 東神楽町の農業振興に何が必要か



大門 登 議員 …… 7P

- 1 人口減少対策に分譲地の造成を
- 2 人生100年時代を見すえた町の高齢施策について

竹久 美紀恵 議員 …… 8P

- 1 コロナ感染禍の中 防災対策は万全か

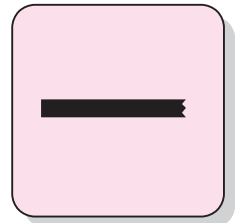


松尾 貴野枝 議員 …… 9P

- 1 高齢者宅の防犯カメラ設置に補助金を

生出 栄 議員 …… 10P

- 1 補聴器への町助成制度の考えは、無いのですか
- 2 我町の町道を走ってみました
- 3 アゼリアハイツの増床と大規模改修の考えは
- 4 コロナ禍で求められる町政は
- 5 平成12年5月に不正発覚の事件とは



質問・答弁は要約されています
質問・答弁内容は質問者が要約した内容を載せています。
詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録がありますのでご利用ください。

第3回定例会では
6名が一般質問しました。

伊藤一乗 議員



問 ごみの不法投棄への対応は！

答 今後とも、現況を的確に把握しながら連携強化を図り、不法投棄の防止と環境整備に努める



ごみ集積所「回収ボックス」

質問 今、当町各地域のごみ集積所において、ごみの分別のないまま不法に投棄される事案が発生しており、この対応に地域住民が苦慮しております。

夏場の気温上昇により、放置した廃棄物の腐敗による悪臭や廃棄物の未回収が問題となっております。不法投棄は犯罪です。発見した際は、早急に役場へ通報するなど適切な処置が必要と思われるが、町長の対応策を求めます。

町長答弁 不法投棄などは、不衛生な問題の発生やごみボックス内の収容量を圧迫するなど、地区住民から苦情を受けることから、回収業者と協議し、保留期間の短縮を試行しております。

今後とも、現況の把握に努め、関係機関との連携強化に努め、環境整備に取り組みます。

質問 不法投棄は、自分本位で最低限のマナーも守らない行為に強い憤りを感じます。

不法事案が継続するなら、花の町として当町が半世紀にわたり積み上げてきた努力と功績が損なわれてしまいます。

今後とも、周辺住民はもとより役場関係職員、環境衛生指導員のパトロールなどを強化して、不法投棄の排除に努めていただきたい。

町長答弁 ごみの分別・出し方が大変重要であると考えられますので、ごみ捨ての啓発活動に努め、適切な捨て方や不法投棄をさせない対策を継続していきたい。



高齢者への熱中症予防と

対策は

質問 近年では、北海道においても30度を超える日が日常的に見られ、

高齢者の熱中症による死亡事故を未然に防止することが求められております。

行政としては、生活保護者の住宅や高齢者宅のすべてにエアコンを設置することは財政的に不可能ですが、猛暑日には防災無線により高齢者の体調管理について連絡するなどの対策を講ずることも必要と思われる。町長の対応策を求めます。

町長答弁 厚生労働省の資料によれば、熱中症による死亡者の約8割が高齢者で、その半数以上が自宅で発生しており、これらを未然に防止することは重要なことと認識しております。

現状では、高齢者宅訪問での声掛けのほか、老人クラブ等での熱中症予防に関する注意喚起、また、厚生労働省が発信している情報を広報紙やホームページへ掲載するなどして周知・啓発を行っています。



渡辺 一志 議員



問 東神楽町の農業振興に
何が必要か

答 大豆をはじめとする新たな
作物の導入に向けて検討し
てまいります

質問 現在、我町では国営緊急農地再編整備事業が進んでおり、概ね15年後には水田の大半が大型区画となり、農道や用水が整備され効率的な作業が可能となります。

現況では農家戸数は減少していますが一方で50ヘクタールから100ヘクタールの大規模経営農家や法人が生れてきております。しかしながら水田農家の経営安定を図る上で、米と麦、そばで不安はないのか、私の考えとして米の反収が増加すると同時に転作面積も増加すると予想される中で、麦とそばの2品目に大豆を加える事により輪作体系の確立を図る必要があると思えますが町長の考えは。

町長答弁 令和2年度の各品目の水田における作付け面積は、水稲1千334ヘクタール、小麦435ヘクタール、そば107ヘクタールとなっており、水稲水張りの確保、各品目の肥培管理による収量及び品質の向上を目指している状況にあります。しかし、小麦、そばに偏重していること、また今後のコメの需給動向や大規模化に伴う水稲作付の減少を課題として、輪作体系に加える新たな品目を模索しているところです。大豆につきましても、過去より有効な品目として視察を行うなど検討してきたところでありますが、現状

では生産者の意向、生産体制、調整施設導入の資金面などにより、具体的な計画には至っていない状況です。今後、大豆をはじめとする新たな振興作物の導入に向けて、生産者の取組みの意向を確認しながら、関係組織とともに検討を進めてまいりたいと考えております。



転作大豆畑

質問 他町村においては100ヘクタール規模で作付がなされ、転作の主要品目と位置付けされております。JAや生産者組織によるコントラクターも整備されており、経営所得安定対策制度を活用しながら作付

振興が図られております。我町の将来を見据えて米プラス麦、大豆の体制を確立すべきであると考えます。更に水張面積を確保していく上で直播の研究を積極的に行っていく必要があると考えます。

2点目として将来、大区画圃場になったとはいえ耕作放棄地対策も考えておかなければならないと思います。3点目として、高齢農業者の営農にかかわる作業支援も必要であると考えますが町長の考えは。

町長答弁 米以外の作物をどのように活用していくか重要な課題であると考えてます。農協や生産者と協議しながら、しっかりと支援をしていきたい。直播や密苗など新しい技術を活用していく必要があると考えますので支援をしていきたいと思えます。耕作放棄については耕作放棄にならないよう地元の農家の方も含めて取り組んで参ります。

高齢農業者さんの野菜への取り組みやさまざまな農業への支援は必要であると考えますので関係機関としっかりと詰めて参ります。

今後、国営・道営事業を含めた大区画化、ICT農業等を踏まえて、次世代に引き継ぐためにしっかりとした基盤をつくりながら新たな取り組みを関係機関とともに取り組んでいきたいと考えております。

大門 登議員



問 人口減少対策に分譲地の造成を

答 小規模な住宅建設用地を確保していく



他町の住宅分譲地

質問 将来の人口減少に対する対策に、分譲地を購入して永住してもらう対策としてはどうですか。現在、住宅金融公庫の金利は、建設する者に有利な条件になっている。造成して分譲すれば人口流出の歯止めになると考えますが町長の所見を伺います。

町長答弁 大規模な宅地開発を行うことや市街化区域を拡大する事は難しいので、市街地内にある未利用地の有効活用を図り、小規模な住宅建設用地を確保して行くことは検討します。また、町独自の「住まいの輪」を実施して人口の維持に取り組みます。

質問 定住人口・交流人口の増加を目指し、様々な施策をリンクさせ、様々な団体と協力して一日でも早くアクションを起こさなければならぬと考えます。そこで、小規模な住宅建設用地を確保していくとの事ですが、具体的な取り組みについて伺います。

町長答弁 教職員住宅や不用な建物や町の土地など整備をし、販売をしていきます。今後、土地開発公社としても将来的に考えていきます。

人生100年時代を見据えた東神楽町の高齢施策について

質問 平均寿命は女性87歳、男性81歳となり、共に過去を最高更新した。このまま行くと、30年後には人生100年時代が当たり前になると考えられる。充実した人生100年を過ごすためには、健康とお金の問題である。高齢者の敵は孤独を排して生きがいを持って、この町で暮らせる環境をどの様に作って行くのかお伺いします。

町長答弁 高齢者が健康を維持し、いつまでも周囲の人々と交流をもち閉じこもりにならない様に見守り・地域交流の推進・生活支援・健康教育などの支援を行っております。高齢者の孤独の防止、生きがい対

策の向上に向けて取り組みます。

質問 ①高齢者の働く場所が必要と考えますが、行政はどの様に就労支援をしていくのか伺います。

②現在の特養老人ホーム等の待機者を解消するのに、ひじり野地区に特養老人ホームの増設する考えはないのか伺います。

町長答弁 ①今の段階では、高齢者事業団を核として、さまざまな手段については、今後、検討していきます。②現段階では、ひじり野地区に特養老人ホームの増設する計画は持ってありません。

日本人の平均寿命

日本人の平均寿命は明治35年頃は男女とも約44歳であったのが、昭和25年には女性が60歳を超え、昭和61年には75歳を超えた世界でも香港やスイスとならぶ長寿国家。

健康寿命とは自立した生活を送れる期間のことで、男女とも約8年平均寿命より短い。これは支援や介護を必要とするなど健康上問題のある期間が平均8年間あるということ。

ちなみに犬の平均寿命は約14歳、猫は約15歳である。

※某雑誌より抜粋

竹久美紀恵 議員



問 コロナ感染禍の中
防災対策は万全か

答 感染対策を徹底し様々な
ニーズに取り組んでいきます



ハザードマップ

質問 なかなか終息しないコロナ感染禍の中、近年は想定外の自然災害が頻発しています。前回起きたブルックアウトや大雨による洪水被害を踏まえての災害対策の強化や避難所の対策等をどのように行っていますか。

町長答弁 災害対策として平時より防災訓練を行い、必要物質の備蓄は企業から優先提供をして頂き、復旧活動を支援する災害協定を締結しています。

質問 食料品等の備蓄状況は。
町長答弁 食料品や飲料水は2000人分、人口の2%で3日分約1千800食分を役場で備蓄管理しています。

災害協定締結による町内コンビニ、ホクレンショップ、ベストム(株)による流通備蓄を活用させて頂き、燃料関係は町内3社と連携を結び優先的に供給体制を取っています。感染や寒さ対策として間仕切りや段ボールベット等についても町内大和パツ

ケージ(株)と必要量を供給できるように協定をしています。

質問 備蓄食料品等の賞味期限切れを破棄するのでは無く食品ロス対策として町民の方々の災害実体験として利用させて頂けないでしょうか。
町長答弁 防災訓練などの時に提供したこともあります。

日々、災害食料品も新商品が次々に出ており今後、調査研究をしてまいります。



備蓄食料品等の一部

質問 九州では9月に発生した台風の影響で3密を避けるために避難所の人数制限が取られ、受け入れを拒否するという事態が起きました。今後は柔軟に対応する避難所のあり方が問われています。

当町では、町民はもとより高齢者や障害者、疾病のある方や乳幼児、妊婦などの弱者の受け入れ対策も考慮して取り組んで頂きたい。

町長答弁 大きな災害が起きたときは「自助」「共同」「公助」の順番で進めて行くことになると思います。

高齢者や障害者、疾病者など避難所で受け入れる際には感染等の重症化リスクが高いことを想定し、感染対策を行いそれぞれのニーズを把握し環境条件の良い場所を確保し支援に努めます。また、コロナ感染対策を強化し、集団感染防止に努めます。

多くの幼児や児童、妊産婦等と接する町立保育園、町立幼稚園職員にインフルエンザ予防接種を公費負担しクラスターによる施設閉鎖が起らないよう感染予防対策を徹底してまいります。



役場庁舎内の備蓄品

松尾貴野枝 議員



問 高齢者宅の防犯カメラ設置に補助金を

答 助成する予定はありませんが、高齢者が安心して暮らせる施策を実施します。

質問 本格的な長寿社会を迎え、高齢者が、安心安全に生活する為の総合的な見守りの一環として、防犯カメラの設置があります。

我が町も過疎が進み核家族化されて、高齢者だけで暮らす世帯が増えていると思います。

又、年齢と共に体力の衰えや、認知能力の低下、あるいは、コロナ禍で、外出が減って孤立状態に陥っている家庭もあるかもしれません。

詐欺や泥棒、事故などから守る為にも、防犯カメラの設置は、必要ではないでしょうか。

良い物であれば、

10万円近くかかり

ます。そこで、

・対象者を65歳

以上とします。

・補助金は、かかった費用の10%

50%の間で。

町長の考えを、お聞かせ下さい。

町長答弁

町では、病弱な一人暮らしのお年寄りのお宅や老人夫婦世帯

などには、緊急通報電話を設置できる制度があり、緊急時には迅速な対応

ができる体制を整えているほか、コープさっぽろ、道新会旭川近郊地区

会、セブインレブン・ジャパン等と地域の

見守り活動に関する協定を締結し、訪問先で

異変等を感じたと



きは、通報をしていただく仕組みを構築しております。

高齢者の個人宅への防犯カメラ設置助成は、実施する予定はありませんが、高齢者が安心して暮らせる施策を実施してまいります。

質問

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症になると予想される中、わが町も人ごとではないと思われます。認知症か、そうではないかの境が、わかりづらい人も沢山います。

また、その日の体調によって物事の判断ができなかったり、さつきまで覚えていたことが忘れてしまったり、思い出せなかつたりすることがあると思えます。そういった時、緊急通報電話だけでは対応しきれないのではないのでしょうか。健康な高齢者でも、とっさのときは体が動かなくなつたりします。

そこで、外から侵入する者に対して、また、認知症で徘徊する高齢者の見守りとして防犯カメラの設置が必要だという事を強く要望します。わが町には防犯カメラが、ほとんどありません。今までも、不審者、空き巣、行方不明になった人などが出ています。

そこで、町の見守りの一環として、また遠くで暮らす高齢者の家族が安心できる為の政策として防犯カメラ

の設置に対して、補助金の検討をお願いします。



町長答弁

防犯カメラにつきましては、プライバシーや管理の問題が課題かなと思っております。

又、別の対策として、緊急通報電話、あるいは機械を使いながら、コミュニケーションをとる方法などが考えられます。

徘徊に関しても、発信機器みたいなものを持ってもらうようなかたちにするの方が重要だと思っております。

防犯カメラに、補助をするということは、現段階において考えておりません。

しかし、いろいろなものにつきましては、研究をしていきたい。

生 出

栄 議員

(日本共産党)



問

我が町の町道を走って

答

改修後、数年でひび割れが起きています

質 問 横に舗装が割れる原因解決を含め、応急処置だけでは、無理があるのではと思うが見解は。

側溝の蓋の損傷がひどい路線は、路線毎に取り替える考えはありますか。見難い改修は街並みを壊すと思いませんか。

町長答弁 横断方向に割れる理由は、冬の凍上によるものと、大型車輛の交通量の要因と考えます。

側溝の蓋の取替えは、限られた予算で路線毎でなく損傷部にアスファルトかぶせる方法をとっています。



パッチワーク側溝蓋の施工後



質 問 過疎債を使ったり、農道整備で施行した道路は、砂利厚さが現行施工より浅いし、改修時のアスコン施工だけでは、解決していなかったのではないか。50ミリの断熱材を利用した場所は、凍上していません。街並み壊しのアスファルト塗付は止めるべきだと思いませんか。

町長答弁 砂利厚、舗装厚についても検討をして研究して行きます。

側溝の蓋も近所で見えていますし、ちよっとどうかと私も思っています。計画なども見直しながら進めます。

補聴器と最新眼鏡への助成を

質 問 前回に続き、実現するまで質問させていただきませんが、検討するの言葉は、やはりやらないと言っているのですか。耳と目は軽度の時が一番大事と思いませんか。

生活に不便を生じさせない、最新技術を生かした、健康な生活を維持し、国や道が制度化していないものを町が補完するのが、地方自治体の役目で、多くの町村が実施すれば、国が制度化する事を町長は知らないのですか。

町長答弁 軽度か中等度からで、重くなる前の段階は効果があると思っていて、技術面、公平性の情報収集をし、新年度に向けて研究します。

アゼリアハイツの雨漏れは直りましたか

質 問 指定管理者からの要望を議会に報告して下さい。町直営から社協へ指定管理以来、改修費を負担させた事はあるか。その合計金額はいくらになりますか。

町長答弁 年間100万円くらいかと思えます。軽微な工事を除き大半の工事は町が負担しています。雨漏防止工事に8千万円使いました。

質 問 年間100万円負担させたと言つ事は、20年で2千万円、返金するのが筋かと思えます。介護保険制度も改善されている事も考慮する必要があると思いませんか。

町長答弁 それぞれ意見交換をしながらか進めていきます。

平成12年5月に不正発覚の事件とは

質 問 町民から集めたお金が納金されなかった事件は一度も議会に報告されていません。報告願います。

町長答弁 公金官物処理不適正として処分も終えていますので、議会で説明する考えはありません。

※コロナ禍で求められる町政の質問は、紙面の都合上割愛させていただきます。

第3回定例会議案審議

主な議案 【決算特別委員会の設置】

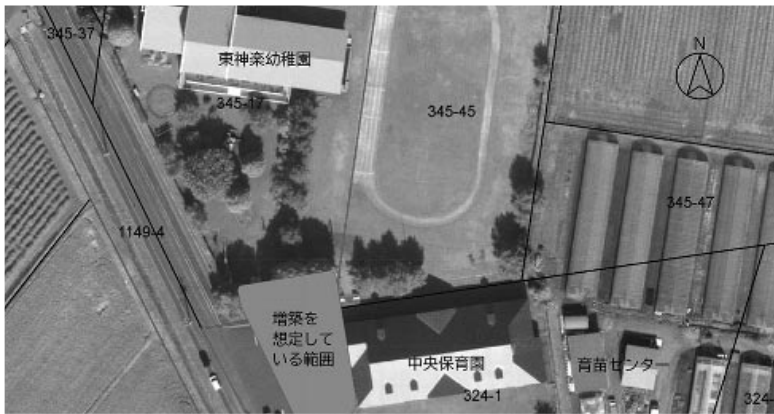
議案第1号	令和2年度東神楽町一般会計補正予算(第6号)
議案第2号	令和2年度東神楽町水道事業会計補正予算(第1号)
議案第3号	令和2年度東神楽町下水道事業会計補正予算(第2号)
議案第4号	東神楽町都市計画税条例の一部を改正する条例
議案第5号	東神楽町の債権の管理に関する条例の一部を改正する条例
議案第6号	北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する規約
議案第7号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部を変更する規約
議案第8号	北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する規約
議案第9号	物品の取得の件(小中学校学習者用情報機器購入)
議案第10号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更の件

中央保育園の増築決まる

議案第一号 一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として保育室の空間に余裕をもたせ、園児が密集する状況を緩和する目的で増設する。

事業費 1億7千171万円
構造 平屋建て
延べ面積 増築面積約650㎡



中央保育園の増築想定範囲図

整備諸室

- 保育室 35㎡ …… 6室
- 乳児室 35㎡ …… 1室
- 厨房 100㎡ …… 1室
- 事務室 120㎡ …… 1室
- 付帯する共有部 …… 1室

建築工事

令和3年4月中旬
施工期間約6ヵ月

第5回臨時会

日時 令和2年8月3日

議案

議案第一号

令和2年度東神楽町一般会計補正予算

議案第二号

財産の取得の件 複合施設用地

内容

歳入の主な補正

新型コロナウイルス感染症交付金等
133,941千円

歳出の主な補正

主に新型コロナウイルス感染症対策
133,941千円

- ・感染症予防対策事業、公共施設、避難所分 8,510千円
- ・デジタル簡易無線局整備、災害時対応 4,700千円

意見書の提出

第3回定例会

令和2年9月16日～18日

意見書案第4号

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書。

意見書案第5号

国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書。

・特別老人ホーム空調設備改修 7,711千円

・交流プラザつつじ館研修室窓取替事業 2,352千円

・ふれあい交流館空調設備設置等 3,453千円

・プレミアム商品券発行・お米配布事業 4,428千円

・小中学校情報機器整備事業 21,635千円

・新1年生通学用カバン配布事業 100万円

・旭川空港利用促進事業 100万円

・販路拡大PR支援事業、観光施設支援事業 500万円

議会の動き

6月18日以降

各委員会

開催日	場所	会議名称	内容
6月18日	委員会室A	議員協議会（第16回）	・複合施設整備事業について
6月29日	町内	総務厚生常任委員会新町公住19年棟視察	
7月7日	委員会室B	議会広報常任委員会（第7回）	
7月13日	委員会室B	議会広報常任委員会（第8回）	
7月20日	委員会室A	議員協議会（第17回）	・地方創生臨時交付金について ・複合施設整備事業について
9月3日	委員会室B	議会運営委員会	
9月3日	委員会室A	議員協議会（第18回）	・高度無線環境整備推進事業について ・中央保育園空間安全・安心確保事業について
9月11日	委員会室B	議会運営委員会	
9月16日	議員控室	議員協議会（第19回）	・第3回議会定例会の運営の件
9月16日	委員会室A	総務厚生常任委員会（第4回）	
9月16日	委員会室B	文教産業常任委員会（第3回）	
9月17日	本会議場	決算特別委員会	
9月18日	議員控室	議員協議会（第20回）	・決算特別委員会委員長報告について
9月18日	委員会室A	議員協議会（第21回）	・町立診療所の医師について ・長寿祝金の見直しについて ・大雪葬祭場整備事業について ・旭川空港の運営に係る協定について
9月18日	委員会室B	議会広報常任委員会（第9回）	
10月9日	委員会室B	議会広報常任委員会（第10回）	

議長・議員

開催日	場所	会議名称	出席・参加者等
6月27日	旭川市	旭東地区国営緊急農地再編整備事業安全祈願祭	議長
7月27日	町内	町議会議員と社会福祉協議会の懇談会	副議長・議員
8月24日	町内	町政懇話会	議長
8月28日	役場大会議室	定例表彰式	議長・議員
9月15日	役場大会議室	交通事故死ゼロ1500日達成町民集会	議長
10月9日	鷹栖町	上川管内町村議会議員研修会	議長・議員

■議会広報常任委員会

委員長	横溝 政行
副委員長	松尾貴野 枝
委員	大門 登
委員	窪田 功
委員	渡辺 一志
委員	伊藤 一乘

ある若者を育
てるには」と
題する講演が
行われ、参加
者一同は真剣
に聴取してお
りました。



令和2年度
上川管内町村議会議員の
研修会が開催されました